

令和5年9月27日

保護者の皆様

川崎市立富士見台小学校
校長 白石 久美子

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取り組みについて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（水）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。

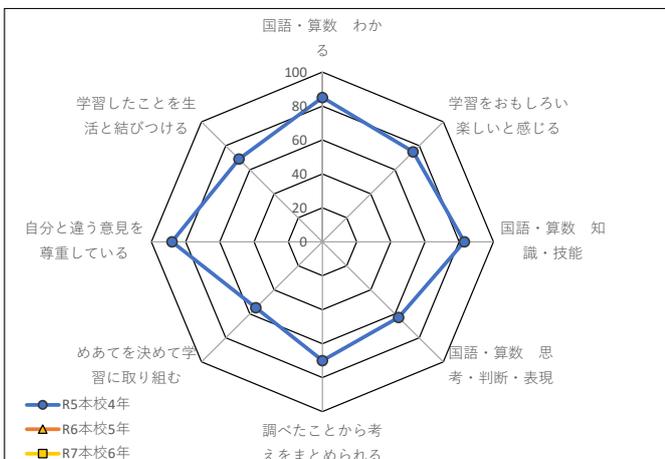
本校では学校教育目標『個性輝く 豊かな人間性を培い 国際社会にたくましく生きる子の育成』の実現をめざしています。「やさしく」「かしこく」「たくましく」の三つの柱を大切に、今年度の重点目標である「互いに学び合い 高め合う子 ～一人一人が学びの主人公～」とし、日々の教育活動に取り組んでおります。

今回の調査結果を、学校づくりに生かす観点から分析し、本校が目指す教育活動の成果と課題、今後の取り組みについてまとめました。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取り組みの様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標：『個性輝く 豊かな人間性を培い 国際社会にたくましく生きる子の育成』
（互いに学び合い 高め合う子 ～一人一人が学びの主人公～）

- 情報活用能力の育成：生活や学習の場面で情報を活用し、習得した知識や技能を活用する力
- 豊かな心の醸成：優しさや思いやりなど心豊かに、互いの良さを認め合い前向きに取り組む態度
- 国際理解教育の推進：国際社会で自分らしく、たくましく生きる力

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生



- ・「国語・算数の授業がわかる（85ポイント）」と、「学習をおもしろい楽しいと感じる（75ポイント）」の結果に開きがあります。また、「学習したことを生活と結びつける（69ポイント）」や「めあてをきめて学習に取り組む（55ポイント）」とやや低い結果が出ています。このことから、学習を理解しているものの、生活と結びついたり主体的に取り組んだりする部分に課題があるととらえました。学校教育目標の重点ポイントにある「活用する力」を育成するため、学習を自分事としてとらえ課題意識を持ち「たくましく生きる力」につなげていくことが重要です。自らの知識や技能を主体的に活かせる場面を大切にする授業を心がけ、ポイントアップにつなげます。
- ・「自分と違う意見を尊重している（88ポイント）」は、重点項目の「豊かな心の醸成」にある「互いの良さを認め合う」ことの重要な要素です。話し合い活動などでさらなる経験を積み、来年度以降も高い水準を継続するだけでなく、さらにこの力を伸ばせるよう努めます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生

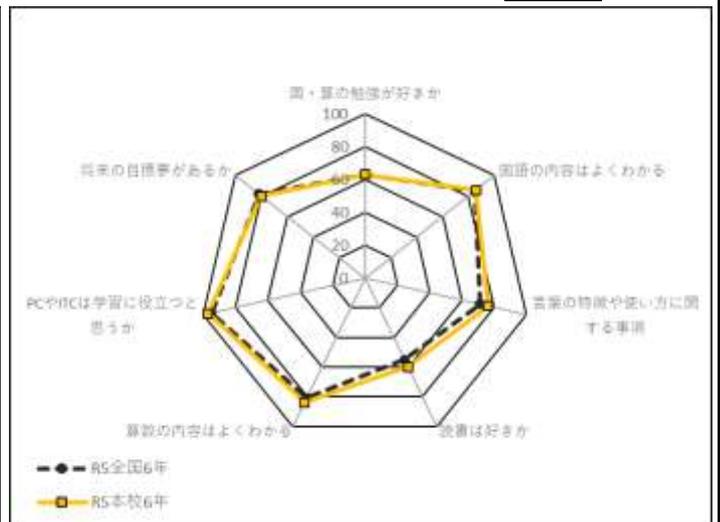


- ・「国語・算数 知識・技能 (76ポイント)」と、「国語・算数 思考・判断・表現 (59ポイント)」の結果に開きがあります。また、「めあてを決めて学習に取り組む (54ポイント)」は、市平均 (58ポイント) を下回っています。これらの結果から、児童が主体的に学びに向き合うことが課題であるととらえました。「一人一人が学びの主人公」の実現に向けて、「主体的で協働的な学び」、「個別最適な学び」の推進を図るような授業改善に取り組みます。また、より質の高い「知識や技能」の習得につなげていくことを視野に入れ、さらなるポイントの上昇をめざします。
- ・「友達の長所や努力を認め伝えあっている (84ポイント)」や、「責任をもって最後までやりぬける (86ポイント)」は高く、多くの児童が互いに認め合う意識や強い責任感を持っています。今後さらに成長ができるよう、児童が活躍する機会を増やし、この力のさらなる向上に努めます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



- ・川崎市の学習状況調査では、「国語・算数 知識・技能 (72ポイント)」より、「国語・算数 思考・判断・表現 (65ポイント)」が低い結果でした。また、「国語・算数がわかる (83ポイント)」と、「学習がおもしろい・楽しいと感じる (65ポイント)」の結果に開きがあります。このことから、知識や技能は高く学習に対する理解度も高い傾向がうかがわれます。一方で、学びに深まりがある魅力的な学習とは感じていない児童がいるということが読み取れます。「社会問題への対応を考えたことがある (74ポイント)」は比較的高いため、身近な社会問題等と関連付け視野の広がりを感じることができ学習の推進を図ります。また、学習への魅力を感じながら主体的に学ぶ児童の育成につなげていきます。全国学力調査でも、川崎市学習調査と同様の結果がでています。児童が「わかる」と感じる背景には、「読書が好き」や、GIGA端末等が「学習に役立つ」と感じている要素があると考えられます。今後も、読書に親しみながら言語力の素地を養い、GIGA端末等を活用し、さらなる学習の定着につなげていきます。
- ・川崎市の学習調査では「調べたことを発信したりまとめたりできる (86ポイント)」と、「話し合いのときに自分の意見を進んで出す (64ポイント)」の結果に開きがあります。自分の意見をしっかりとつことが、将来の夢や希望をもつことにもつながるので、卒業に向けて自己肯定感を高めていきます。